

とっとり 県PTA広報

令和6年11月1日
92号



このロゴマークは元八幡小PTAの中本優紀さんのデザインによるものです

編集・発行 鳥取県PTA協議会

事務局
〒680-0846 鳥取市扇町21
県民ふれあい会館内
TEL:0857-21-2285
FAX:0857-21-0906

E-mail:tori-pta@gamma.ocn.ne.jp
https://tottori-pta.net/



鳥取県PTA協議会

役員紹介 ★好きな給食



副会長 藤原実男
★揚げパン

副会長 山増博通
★七夕ゼリ

副会長 山崎雄一郎
★鯨の生姜煮

会長 高尾裕子
★ソフト麺

副会長 橋本伸一
★揚げ餃子

副会長 森田泰弘
★カレー

事務局長 徳田めぐみ
★冷凍みかん

西部ブロック代表理事 田中亜未
★きなこ揚げパン

西部ブロック代表理事 山本祐子
★納豆の天ぷら

東部ブロック代表理事 森本千恵
★揚げパン

東部ブロック代表理事 岡垣一樹
★鯨のサイコロステーキ

中部ブロック代表理事 梅谷友美
★もずくスープ

中部ブロック代表理事 山元悟司
★スタミナ納豆

監事 田中克憲
★フルーツポンチ

監事 西本憲人
★カレーうどん

スローガン

やさしさあふれる活動が
優しい子どもを育み
優しい社会をつくりだす

会員の皆様におかれましては、日頃より鳥取県PTA連合会の諸活動に対し、ご理解・ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。ご挨拶にあたり3点お伝えします。

①【AかBのどちらかではなくCを考える力】

P T A (社会教育)なんて面倒くさい=やめてしまえばいいは確かに理解できますが、学校教育や家庭教育ではそうではないはず。P T A (社会教育)は学校・保護者・地域をつなぐ役割を担っています。個人の自由が尊重される事はとても大切な事です。しかし裏にあるのは互いの信頼や協働がある事を忘れてはなりません。相互関係にあるからこそ、社会は成り立つのではないのでしょうか。

②【できる人ができる時にできること】

みなさんで話しあいましょう。また、多様性や価値観が違ってこそ自身は面白さを感じています。誰一人取り残すことのない様にとともに対話をしましょう。前例踏襲ではなく、時代に合ったカタチを創り、私たちの世代でさらに盛り上げ、次の世代に堂々とバトンを渡していけるように努力を重ねて参ります。

③【何より無理なく楽しみましょう!】

今こそ、人と人とのつながりが大切です。私たち保護者と教職員がスクラムを組み、子どもたちの健全育成のために、学校教育の最大の応援団として前向きなご協力をお願い申し上げます。

令和6年度 鳥取県PTA協議会 役員

役職	氏名	所属	役職	氏名	所属
会長	高尾 裕子	東伯郡中学校 PTA 連合会 (赤碓中学校)	理事	三好 寛子	八頭郡小中学校 PTA 連合会 (郡家西小学校)
副会長	山崎雄一郎	鳥取市中学校 PTA 連合会 (鳥取市立南中学校)	理事	森本 徳春	倉吉市小学校 PTA 連合会 (小鴨小学校)
副会長	山増 博通	倉吉市中学校 PTA 連合会 (久米中学校)	理事	藤井 義人	倉吉市中学校 PTA 連合会 (鴨川小学校)
副会長	藤原 実男	米子市小中学校 PTA 連合会 (ミヅ浜小学校)	理事	中田 崇展	東伯郡小学校 PTA 連合会 (古小学校)
副会長	橋本 伸一	県小学校長会会長 (城北小学校)	理事	千熊 一弘	東伯郡中学校 PTA 連合会 (湯梨浜中学校)
副会長	森田 泰弘	県中学校長会会長 (境第一中学校)	理事	村田 博	米子市小中学校 PTA 連合会 (就将小学校)
東部ブロック代表理事 (研修委員長)	岡垣 一樹	八頭郡小中学校 PTA 連合会 (八頭中学校)	理事	常松 契一	米子市小中学校 PTA 連合会 (福米中学校)
東部ブロック代表理事 (研修副委員長)	森本 千恵	鳥取市小学校 PTA 連合会 (若葉台小学校)	理事	江尻 浩介	境港市小学校 PTA 連合会 (上道小学校)
中部ブロック代表理事 (総務委員長)	梅谷 友美	倉吉市小学校 PTA 連合会 (関金小学校)	理事	木山 洋志	境港市中学校 PTA 連合会 (第一中学校)
中部ブロック代表理事 (総務副委員長)	山元 悟司	東伯郡小学校 PTA 連合会 (聖郷小学校)	理事	内田 恭雅	西伯郡小学校 PTA 連合会 (会見小学校)
西部ブロック代表理事 (広報委員長)	山本 祐子	米子市小中学校 PTA 連合会 (福生中学校)	理事	稲田 裕二	西伯郡中学校 PTA 連合会 (法勝寺中学校)
西部ブロック代表理事 (広報副委員長)	田中 亜未	西伯郡中学校 PTA 連合会 (中山中学校)	理事	音田 勝美	日野郡小中学校 PTA 連合会 (日野学園)
理事	玉野 良次	鳥取市小学校 PTA 連合会 (久松小学校)	監事	西土井めぐみ	鳥取市中学校 PTA 連合会 (鳥取市立東中学校)
理事	武内 稔衛	鳥取市中学校 PTA 連合会 (ミヅ郷中学校)	監事	田中 克憲	倉吉市中学校 PTA 連合会 (西中学校)
理事	言水 晋平	岩美郡小中学校 PTA 連合会 (岩美南小学校)	監事	西本 憲人	西伯郡小学校 PTA 連合会 (中山小学校)

CONTENTS

P1 ○会長挨拶 ○役員紹介

P2~P3 ○PTA役員研修会報告
○県広報紙コンクール結果

P4 ○オリンピック・パラリンピアン
インタビュー

ご意見アンケートは
こちらから!



事務局長 : 徳田めぐみ | 事務局員 : 山本 桂

令和6年度 鳥取県PTA役員研修会 報告

熱く意見を
かわしました!

日時 令和6年6月23日(日)
13:00~16:15

場所 倉吉体育文化会館

各学校の役員皆様は、家庭・学校・地域をつなぐ活動に日々尽力しておられます。
そんな皆様が鳥取県全域から集まれ、それぞれの立場から様々な課題やPTA活動の在り方などについて、熱く議論を交わす研修会となりました。多数のご参加ありがとうございました。



全体会

【鳥取県PTA協議会について】 県P会長：高尾裕子

内容 ◎みんなで「これからのPTA」について考えよう ◎PTAは子どもたちの健やかな成長のための団体
◎これからの時代は、できる人が、できる時に、できる事を ◎保護者と先生と地域を繋げる懸け橋になっていこう

講演会



テーマ 【温かい人間関係を築き上げる力を育てるために
子どもたちのコミュニケーション能力の大切さ】

講師 全国コミュニケーション教育研究会会長：菊池 省三氏

内容 ◎ほめて・認めて・励ます、言葉で育てる
◎コミュニケーション力を鍛える、非言語を大事に、笑顔を楽しむ
◎お互いの「ちがいを認め合う、「同じで安心」ではなく「ちがって安心」を

感想

具体的な事例から子どもが変容していく過程がよく理解できた。
子どもに対する効果的な関わり方や子ども同士の良い関係性の築き方について学ぶことができた。

テーマ別研修会

◎第1分科会 【PTA活動】

テーマ：PTA役員さん向けワークショップ
～PTAやってみて良かった～

ファシリテータ：高尾裕子（鳥取県PTA協議会会長）
アドバイザー：松岡智也（鳥取県PTA協議会元会長）
内容：「PTA会長って大変?」「他の学校はどんな活動をしているの?」「運営のコツってあるの?」新人会長からベテラン会長まで、県内小中学校のPTA会長で情報交換をして今後の活動のヒントを探してみましょう。

感想

東・中・西部で合同で研修を行い、他の学校のPTAの課題や解決策を知ることができた。

◎第2分科会 【子どもの理解について】

テーマ：子どもの心の寄り添い方

講師：間屋口 貴仁氏
(鳥取県認定フリースクール
ちやれすくーる代表)

内容：子どもの気持ちの理解や寄り添い方について、保護者としてどうしたらいいかを一緒に考えてみましょう。現場の様子を通して学び合ひましょう。

感想

フリースクール経営者のリアルな考えや想いが聞けて新鮮でした。
学校や教育委員会とフリースクールが連携していくための考え方の参考になると思います。



◎第3分科会 【広報紙作成】

テーマ：年間行事や企画の広報紙での取り上げ方
発表者：令和5年度県広報紙コンクール受賞校
講師：田中 仁成氏（前日本海新聞社 地域プロデュース局参与）
内容：PTAの実践発表、新聞作成のプロからの視点を講和。実際の紙面を見ながら読まれる広報紙・読み応えのある広報紙への改善点をわかりやすく教えていただきます。

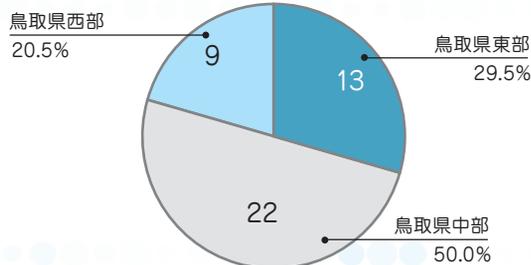
感想

どの学校の発表も、講師の先生の講話も具体的で、何から取り組んだらよいかとてもわかりやすかった。

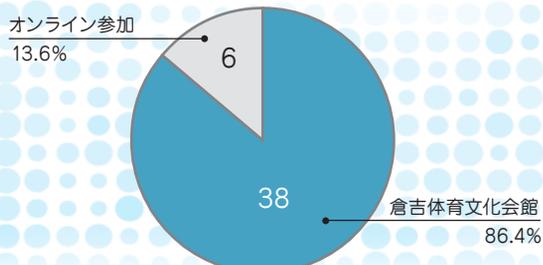


令和6年度 鳥取県PTA役員研修会 アンケート結果

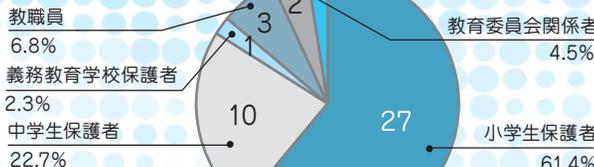
1.参加地域 回答:44件



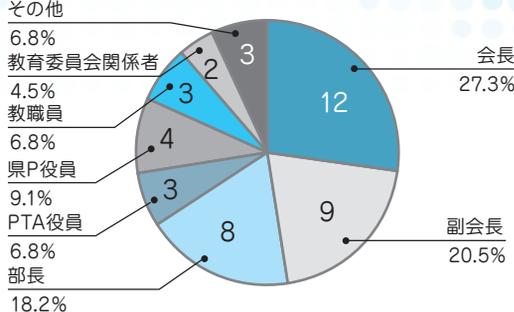
2.参加方法



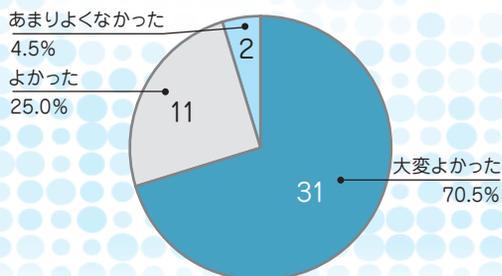
3.所属



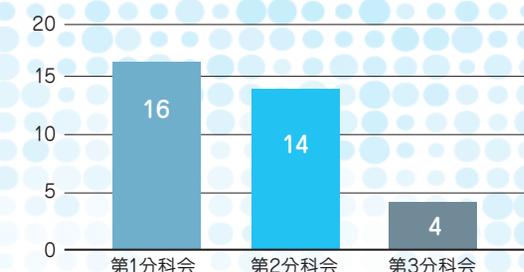
4.役職



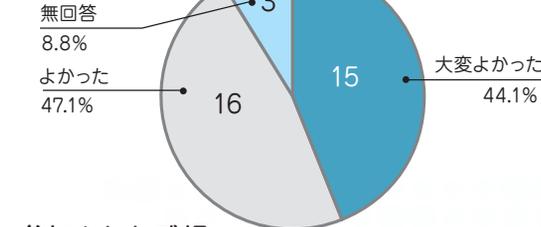
5.講演会について



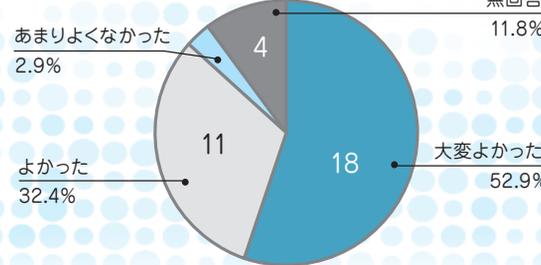
6.テーマ別研修会について 回答:34件



テーマについて



参加された感想



令和5年度 鳥取県PTA広報紙コンクール審査結果

教育長賞

小学校の部	鳥取市	若葉台小学校	カリヨンのひびき
中学校の部	東伯郡	三朝中学校	かじか

県PTA会長賞

小学校の部	米子市	明道小学校	めいどう
中学校の部	東伯郡	北条中学校	PTA会報

新日本海新聞社賞

小学校の部	米子市	福米東小学校	松風
中学校の部	米子市	福生中学校	生泉

表彰区分	学校名	郡市名	広報紙名
金賞	北条小学校	東伯郡	茶白山プレス
	中山小学校	西伯郡	みどりの広場
銀賞	住吉小学校	米子市	ひろば
	溝口小学校	西伯郡	かがやき
銅賞	逢坂小学校	鳥取市	おうさか
	五石小学校	米子市	ごせんごく
努力賞	岩倉小学校	鳥取市	岩倉

表彰区分	学校名	郡市名	広報紙名
金賞	桜ヶ丘中学校	鳥取市	桜ヶ丘
銀賞	法勝寺中学校	西伯郡	せせらぎ
銅賞	奥大山江府学園	日野郡	セルリアン
努力賞	日野学園	日野郡	つなぐ

第72回 日本PTA全国研究大会 川崎大会

参加報告

日時: 令和6年8月23日(金)～8月24日(土)



特別第1分科会 内田 由紀子 氏(京都大学 人と社会の未来研究院 院長・教授)
全国のPTAの縁をいかに強く進める教育環境改善への提言

～PTAの真の役割とは。ウェルビーイングな社会教育の促進～

全体基調講演 西野 博之 氏

(認定NPO法人フリースペースたまりば理事長/前川崎市子ども夢パーク所長)

誰もが幸せに暮らせる社会の実現に向けて

～全ての子供たちに「生まれてくれてありがとう」を届けよう!～

特別第2分科会 吉田 タカシ(「トーキョーコーヒー」代表)

大人が変われば子供も変わる!ウェルビーイングの社会実装

～学び保障の政策を社会に根付かせることの大切さ～

セッション1 参加型セッション

多様性を認め合う心豊かな社会を目指して

～違いに気付きワクワクする人間関係が活動の力に!～

セッション2 親野 智可等 氏(教育評論家)

子供たちと一緒に自己肯定感を高め合う家庭教育の大切さ

～子供たちへの報酬は「ほめること」。もっと親力を発揮しよう!～

セッション3 参加型セッション

地域や社会に広げるウェルビーイング!住み続けたいまちへ

～全国大会ならではの!各ブロック大会等の活動事例から共に学ぼう～

記念講演 前野 マドカ 氏(EVOL株式会社 代表取締役CEO)

ウェルビーイングを社会に広げることの大切さ

～学びを振り返り、今こそ一歩踏み出す決意の瞬間を楽しもう!～

感想

この度の全国大会は「ウェルビーイングの実現を、川崎の地から～活かそう“縁”の力～」をスローガンに、従来のような各分科会による会場移動ではなく全員が一堂に会して行われました。大人も子どもも一緒になり、笑顔あふれる地域にしていくための活動のあり方について盛り沢山の内容でした。今の子どもたちを取り巻く問題・課題についてそれぞれの意見を交換し合い、互いを認め、尊重する、という正に「PTAに関わるなかで、子どもたちを想う保護者たちとの“縁”による学びと成長」を感じることができた二日間でした。

今の子どもたちが抱える差別・いじめ・不登校、無気力...といった様々な問題・課題に対して、私たち保護者がアプローチする際に持つべきひとつの大切な理念のようにも思います。私たちPTAも「学校や地域とともに、子どもを見守り、育てる」という一つの「縁」で繋がっています。「縁」とは、話し合い、認め合い、寛容になることができる、そんな「人との繋がりで得られる心の豊かさ」のようなものに感じます。この経験を大事にして、笑顔になる活動を地元鳥取で広げていけたらと思います。

鳥取白兔養護学校PTA交流研修会に参加して

とても勉強になりました!

10月4日(金)鳥取県立白兔養護学校 PTA 交流研修会に参加しました。

今回大変関心を持ったのが「居住地校交流」という、鳥取県東部を中心に小学校11校・中学校3校で行われている取り組みです。この学校に通う子どもたちの住む地域の小中・高等学校と直接交流する機会を創ることができます。

「同世代の地域の子たちとつながり、知ってもらい、住みやすい環境を作る」「障がいを持つ人への理解を深める」という想いを持ち、子ども・保護者・地域の学校が話し合っただけで、回を重ねるごとに地域の子どもたちが主体となって、どんなおもてなしをしてあげようかと考え、迎えてくれるそうです。

「誰ひとり取り残されることのない社会の実現」と言われますが、こんな身近に優しく心強い社会があることに感動し、PTAの活動にも通ずると思いました。

白兔養護学校は小学部・中学部・高等部が一つの学校で、学びや自立支援活動がされています。子どもたちは、それぞれの輝かしい個性で活動に取り組んでいます。その姿を見ながら、改めて一人ひとりが持つ可能性の大きさに気づかされました。

保護者の方々と交流会では、居住地校交流の様子を伺い、子育ての喜びや悩みを共有し、保護者と先生とのつながりが大切だと実感しました。

2024年4月から障害者差別解消法により、民間企業にも合理的配慮の提供が義務化されました。障がいのある人がより一層社会参加しやすくなるための大きな一歩です。交流会で得た感動を胸に、PTAとしてできる事をしっかりお伝えしていきたいと思えます。

全校のクラスを参観後、「交流及び共同学習」について保護者の方々の体験発表を聞きました。通学するお子さんが家の近所で出会う子どもたちと顔見知りになり仲良くなることで、安心感や勇気を出す喜びを感じ、成長した姿を教えて頂き、その地域にとっても価値のある交流だと思いました。

地域の学校の保護者誰もがこの活動について知り、PTA活動と一緒にしていけるようにすること。インクルーシブ教育のひとつとして進めていく必要を感じました。



鳥取県PTA協議会 小・中学生総合保障制度 (こども総合保険)

・学校貸与の端末を誤って壊して、法律上の損害賠償責任が生じた時も補償!!(個人賠償責任補償(受託品賠償責任補償))

・トラブル被害対応補償付きプランなら、SNS、ネット、対人トラブルの被害にも備えられます!!※Vプラン、Pプランの場合

- ★学校管理下動産補償(身の回り品補償) ※Lプランを除く
- ★個人賠償責任補償 ※自転車事故による法律上の損害賠償責任も国内無制限補償
- ★オンラインで簡単に保険金請求(デジタル保険金請求) ※デジタル保険金請求の対象となる補償の有無は加入者証にてご確認ください。



詳細は鳥取県PTA協議会 小・中学生総合保障制度のパフレット、補償概要等をご覧になるか引受保険会社にお問い合わせ下さい。

【引受保険会社】 AIG 損害保険株式会社 山陰支店 鳥取県松江市伊勢町519-1 松江大同生命ビル6F
TEL.0852-26-2781 FAX.0852-26-2776 (受付時間:午前9:00～午後5:00 土・日・祝日・年末年始を除く)

S-240661 有効期限 2025年9月

PTA活動中の団体保険

(PTA団体傷害保険・PTA管理者特約付賠償責任保険)

PTAが主催する行事中に参加中のケガ・賠償事故を補償します。

例えば保険ってどんなときに支払われるの?

- ☆PTA団体傷害保険 (お支払い例)
 - ・所属するPTAの行事であるバレーボール大会の練習中、転んで足を骨折してしまった。※PTAの管理下で練習を行っていることが条件となります。
 - ・所属するPTAの行事であるバザーで食中毒を起こし通院が必要となった。 ※細菌性食中毒、ウイルス性食中毒を含みます。
- ☆PTA管理者特約付賠償責任保険 ※PTA活動の遂行に伴い法律上の賠償責任が発生する場合に支払いとなります。 (お支払い例)
 - ・所属するPTAの行事である清掃活動時、草刈機を用いていたところ飛び石により駐車場に停車中の車にキズをつけてしまった。
 - ・所属するPTAの共催行事である運動会でテントの張り方が悪く、倒れたテントが生徒にあたりケガをしてしまった。

このチラシは「PTA団体傷害保険・PTA管理者特約付賠償責任保険」の概要を説明したものです。詳しい内容につきましては、パンフレットをご覧ください。なお、ご不明な点は、取扱代理店または携保センターまでお問い合わせください。



【事故サポートセンター】 0120-727-110
【受付時間】24時間365日

(S124-04584 2024年07月16日作成)

●取扱代理店 株式会社 スマイル保険サービス 〒680-0822 鳥取市伊勢町2丁目286番地 TEL.0857-51-1033 FAX.0857-51-1034 <受付時間>平日:午前9時から午後5時まで

●引受保険会社 損害保険ジャパン株式会社 〒680-0822 鳥取市伊勢町2-112 アクティビル9階本ビル2F TEL.0857-23-3001 FAX.0857-27-1510 <受付時間>平日:午前9時から午後5時まで

鳥取県のオリンピック

三上紗也可さん

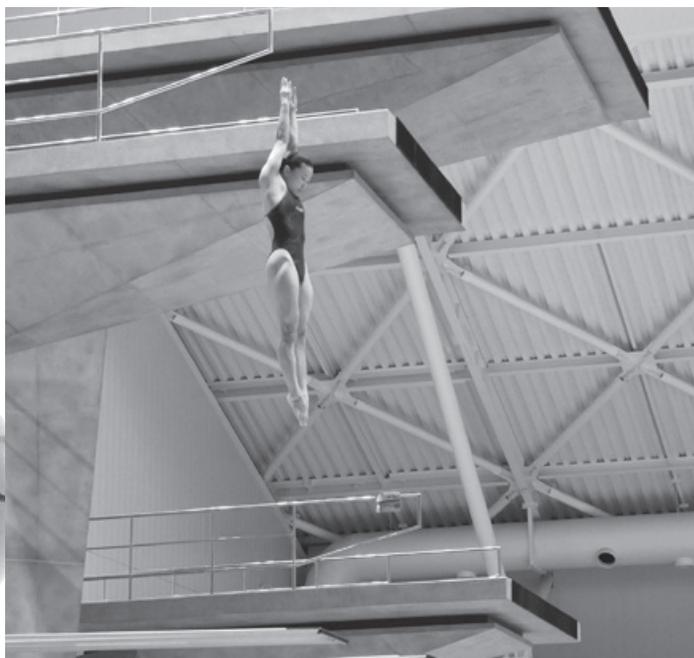
<略歴>

- 2000年 米子市に生まれる
小児期は水泳・体操・ピアノなど様々な活動に取り組む
小学校 2年生の時に飛び込みに出会い、持ち前の跳躍力を生かして様々な大会で活躍。世界で数人しかできない「5154B」という大技を持つ
- 2021年 東京オリンピック 3M 板飛び込み出場
- 2022年 ワールドカップベルリン大会銅メダル
- 2023年 ワールドカップ西安大会銅メダル、モントリオール大会5位
- 2024年 パリオリンピック出場、直後の日本選手権で優勝・三連覇
出身校；米子市立後藤が丘中学校→鳥取県立米子南高等学校→日本体育大学→現在大学院



<質問コーナー>

- Q どんな子ども時代でしたか？
A 兄と遊ぶ時も負けたくないという気持ち、負けず嫌いでした。
- Q パワーの源は何ですか？
A 応援してくれる人の存在。特に地元鳥取県の方々。なかなか結果が出なかったときに「できる！」「やれる！」とかけてもらった言葉に背中を押され、次のステップに踏み出すことができました。
- Q 家族の関わりかた・励みになったことは？
A チャレンジしたいことに積極的に協力してくれた。おかげで色々なことに興味を持ち、たくさんの経験をすることが出来ました。
- Q 鳥取県の好きなところ
A 自然が豊か。友人や家族と釣りに行くのが楽しみです。
- Q 次の目標は？
A ロサンゼルスオリンピックを目指します。
- Q 鳥取県の子どもたちにメッセージをお願いします。
A どんなことでもよいのでとことん追求してほしいです。つらいことがあったりできない時もあります。後悔しないように一生懸命やって達成感を感じてほしい。



鳥取県のパラリンピアン

森 卓也さん

<略歴>

- 1974年 兵庫県神戸市に生まれる
- 1995年 20歳の時に阪神淡路大震災被災、復興の仕事に従事
- 2000年 大山に興味のあったお父様の影響で米子に移住
- 2010年 先天性の脊柱管疾患のため35才で車いすの生活になる
- 2015年 パラ陸上に出会う、砲丸投げ・円盤投げの日本記録保持者
- 2020年 東京パラリンピックを目指す中、車いす移乗の際の転倒で右肩腱板の大けが
投げる動作が出来ないと告げられ、パラリンピックを断念
けがの手術翌日、痛みと発熱でうなされる中、けがのない左手でスマホを操作し出来るスポーツを検索。ボートの動きが出来ると知り、その日のうちにローイングエルゴ（練習用具）を購入
- 2024年 パリパラリンピック 50才で初出場
ローイング PR1 男子シングルスカル 8位入賞



<質問コーナー>

- Q 子どもの時の経験で今生きていることは？
A 子どもの時はあきらめることが多かった。何かやっても、ちょっとしんどかったり壁に当たるとやめてしまっていた。だからダメになったとしても、また次に何をしようかと探してみる・チャレンジする・変えてみる前向きな気持ちをつちかうことができました。
- Q 何歳からでもチャレンジをする元気の源は？
A まず一歩を踏み出してやってみる！やってみてから考えればいい！という気持ちです。
- Q スポーツを続ける上で大切なことはなんですか？
A 一人ではなく、いつもそばで支えてくれている人がいるということです。また、試合や新しい技の習得などプレッシャーもありますが、緊張している状態を受け止め、緊張から逃げ出さないことです。
- Q 好きな食べ物は？
A 鶏肉をよく食べます。和菓子・あんこも好きです。鳥取は、魚が美味しい。
- Q 鳥取県の子どもたちに一言をお願いします。
A やりたいと思ったことをやってみよう！まず動いてみよう！色々な発見・新しい出会いなど、どんどん広がっていくよ。

